

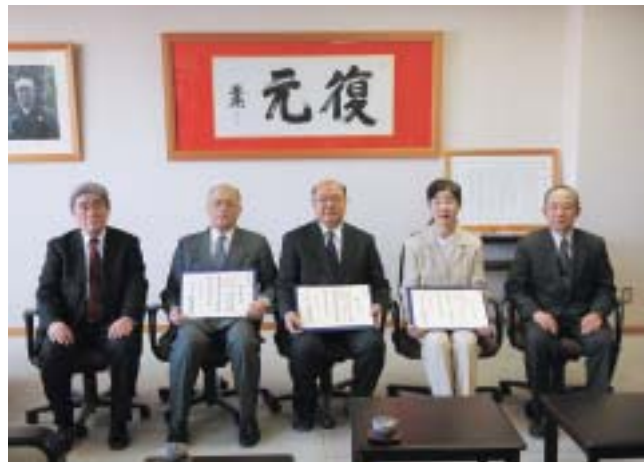




# 名誉教授称号 新たに3教授へ

3月23日、長年本学の発展に貢献いただいた小林孝信教授、山本義泰教授、安田昭子教授の3人に名誉教授の称号と記念品が、橋本武学長から贈られた。

小林孝信教授は、昭和41年に本学に着任し、昭和60年か



左より橋本学長、山本教授、小林教授、安田教授、大橋副学長

らは教授として国際文化学部ヨーロッパ・アメリカ学、英米文学科に所属、41年間勤務された。

山本義泰教授は、昭和44年に本学に着任し、昭和62年から教授として体育学部体育

学科に所属、40年間勤務された。

4月からは小林孝信教授は非常勤講師として、英米文学科に所属、38年間勤務された。

安田昭子教授は3月末をもって退職された。

## 創立80周年記念行事 報告書刊行

平成17年度に開催された創立80周年記念行事について、既に各学部などが報告書を出しているが、このたびは2点が刊行された。

まず、地域文化研究センターが、報告書「天理大学80周年記念国際シンポジウム報告書」を3月に刊行。内容は、シンポジウム講演録のほか、アフリカ・アジアに関する現代史略年表や写真なども掲載し、「戦争・宗教・平和」について考えることができる内容となっている。残部僅少のため、入手希望の際は地域文化研究センターへご相談いただきたい(電話0743-631-007)。

次に、総合教育研究センターが、報告書「天理大学創立80周年記念公開レクチャー・パフォーミングス 戦争と舞踊」を4月に刊行。内容は、2日に分けて行われたレクチャーセッション(4つの講演)とパフォーミングセッション(アフリカ・アジアの舞踊)による劇などが網羅されている。後者のセッションは劇などで、活字による報告の限界を越えている。

## 教員を目指す学生を支援

団塊世代の停年退職が始まり、教員の採用枠が広がる中、教員を目指す学生を支援する本学の取り組みがさらに充実。

## 新たに小学校教員の資格認定試験対策講座

本学は、文部科学省が実施している「小学校教員資格認定試験」に合格し、小学校教員一種免許取得を目指す学生を支援するため、本年度新たに「小学校教員資格認定試験対策講座」を開講した。

現在、小学校教諭免許を取得するには、大学の教職課程などで必要な単位を取るが、文部科学省の資格認定試験に合格する2通りあるが、本学では小学校教員の「教職課程」を設置していないため、卒業生が教員希望者の多くは、卒業

## 教員採用選考対策講習会

体育学部は同学部同窓会・校友会の協力を得て4月21日、同学部キャンパス6号棟などで「教員採用選考対策講習会」を開催した。この講習



体育学部の卒業生3氏がバナーをつとめた

会は昨年度から開いているが、本年度は対象を卒業生に広げ、土曜日の午後開催など、教員採用選考対策講習会を開催した。この講習

業で大阪府立佐野高校の宮村誠一校長が、「教員に求められる資質」と題して講話。姿勢・言葉づかいを含む人格の大切さや、意欲・情熱・責任感の強さ、また積極性・柔軟性・協調性などの大切さを説いた。

続くパネリストは、最近採用された卒業生3人が、現在の心境や自らの合格体験を詳細に披露した。パネリストは、榎木康男さん(平成11年卒)、川村樹さん(同13年卒)、佐伯陽介さん(同16年卒)。

そして、最後に実技講習として、同じく同学部昭和39年卒業で武庫川大学非常勤講師の山中厳さんが「水泳の実技講習と教員採用選考水泳実技テストのポイント講習」を行った。

現役の教員による、非常に具体的な講習内容で、継続的な開催を期待したい。

## 生涯教育専攻が メールマガジンを配信

生涯教育専攻は卒業生のネットワーク構築を目的に、3月にメールマガジンの「第1号」と「第1号増刊号」を配信した。総合教育研究センターへお申込みいただきたい(0743-631-709)。

生涯教育専攻は卒業生のネットワーク構築を目的に、3月にメールマガジンの「第1号」と「第1号増刊号」を配信した。総合教育研究センターへお申込みいただきたい(0743-631-709)。

## 人権啓発企画を募集!

人権啓発推進会議では、本年度の人権啓発年間テーマを「わかりあい・みとめあい」とし、年間重点課題として「心と体に関する共生の課題」を掲げている。重点課題の範囲には、障がい者問題、発達障がい(自閉症、アスペルガー症候群など)者問題などがあり、ヒューマンリッツ助成制度を利用して人権啓発企画も、この課題関連のものも期待したいとのこと。

ただし、人権啓発企画は、承認後、経費助成等も行われ

## 2人の留学生に奨学金 天理陽気スカラシップ

留学生の修学支援を行っている教職員任意団体「天理陽気スカラシップ」(会長・片倉充造教授)は4月25日、奨学金授与式をフランス語コース共同研究で行った。

今回申請した留学生は19人であったが、面接などを経て選ばれた、歴史文化学科3年次生の袁香(エンコウ)さんとアジア学科3年次生の薩田(サタ)さん2人に、片倉会長から奨学金20万円がそれぞれ贈られた。

## サテライト語学教室受講から 科目等履修に

定着した感のある言語教育研究センター主管の「天理大学サテライト語学教室(天理大学、奈良新聞社共催)は、本年度も15言語17コースで開催されているが、同教室を受講した後、本学で科目等履修を希望するケースが出てきている。最も顕著なのは「インドネシア語コース」の受講経験者で、現在5人が履修している。

同教室受講生の受講理由は、家族にインドネシアの方がいたり、仕事の関係などいろいろあるが、そのなかの1人杉山好美さんは、奈良市在住で「主人がインドネシアの

## 社会福祉士国家試験 全国合格者を上回る

社会福祉士国家試験は、今年(平成19年)の試験結果発表が3月30日に行われ、本学関係では全国合格者が27.4%という難関の社会福祉士に27人中8人が合格(合格率29.6%)した。また、精神保健福祉士に合格者は資格を生かし、病院や介護老人福祉施設、障害者生活支援センター、知的障害児施設などに就職している。

広(国際文化学部准教授)、共同研究者近藤雄二(体育学部教授) 2007年3月

『中国文化研究 第23号』 研究論文・講演録などを掲載。アジア学科中国語コース研究室 2007年3月

## 学術情報プラザ

3月16日 ヨーロッパ・アメリカ学科懇話会「欧州ワーカーシップ」思春期青年期の不適応に対する生活支援との連携を探る

3月26日 堺・南大阪地域日本語教育連絡会研修講座

『宗教の詩学・テキストとしての「宗教」を読む』グロイカル新書7 岡田正彦(人間学部准教授)著 天理大学附属おやさと研究所 2007年3月

『フィリピン共和国サンタローサ市における、教育協働と「高大連携」による参画型コミュニケーション・ディベロップメントの可能性の模索』平成17年度天理大学学術研究助成報告書 研究代表者澤山利センター 2007年2月

『東方台湾語辞典』村上嘉英(国際文化学部教授)編著 東方書店 2007年3月

『外地 日本語学論』神谷忠孝、木村一信編 下村作次郎(国際文化学部教授)ほか共著 世界思想社 2007年3月

『発音から学ぶ中国語』朱鵬(国際文化学部教授)著 2007年4月

**附属施設行事案内**

天理大学附属天理参考館

第54回企画展  
「遣隋使・遣唐使が出会った人びと - 中国隋唐陶製人形美 -」  
会期:2007年4月11日(水)-6月11日(月)  
会場:3階 企画展示室1・2

第55回企画展  
「キップの世界 収集趣味と乗車券印刷機」  
会期:2007年7月4日(水)-8月12日(日)  
会場:3階 企画展示室1・2  
会期中先着3,000名に記念券を配付いたします(お1人1枚)。

天理大学附属おやさと研究所

平成19年度公開教学講座  
いま求められている家族の絆 -『逸話篇』に学ぶ  
第3講 6月25日(月)  
「親子・365日定めた心」  
講師:澤井 義次(人間学部宗教学科 教授)  
時間:13:00-14:45  
会場:天理教道友社6階ホール  
\*お車でのご来場はご遠慮ください。

